

第2回 東京都市大学

開催日：2021年3月10日（水）

場 所：オンライン形式

ビジネスプラン コンテストを開催



このコンテストは、本学卒業生と強固なネットワークを構築しながら、自身のアイデアをビジネス化するための方法を考案し、社会で必要とされるプレゼンテーション力やコミュニケーション力を鍛えることを目的としています。

1997年に開学した、環境情報学部（現：環境学部・メディア情報学部）の1期生らが発起人となって、昨年1月に初開催し、今年で2回目となります。前回同様、エントリーのあった25チーム（第1回は15チーム）の中から、書類審査を通過し、最終選考に残った5チームが、卒業生有志の指導によるブラッシュアップを経て、コンテストに臨みました。

審査には、今年も本学卒業生でもある起業家の方々にご依頼し、審査員長を株式会社オールアバウト代表取締役社長の江幡 哲也氏（1987年電気工学科卒）、審査員を株式会社デジタルシフトウェブ代表取締役社長の鈴木 康弘氏（1987年電気工学科卒）、アイロボットジャパン合同会社代表執行役員社長の挽野 元氏（1992年電気工学専攻修了）、株式会社トリドールホールディングス執行役員の磯村 康典氏（1993年機械工学科卒）という錚々たるメンバーに務めていただきました。

本学卒業生の起業家の皆さんを前に ビジネスプランを分かりやすくプレゼンテーション

当日は各チームとも、質疑応答も含め約15分の持ち時間を存分に使って、集客のアイデアやサービスの優位性、必要な資金などのビジネスプランを具体的にプレゼンテーションしました。その後の厳正な審査の結果、最優秀賞には、性別違和の人々を対象として、ビジネス化の実現可能性に秀でたプランを



オンライン開催による
コンテストの様子

提案した「EtB」が、優秀賞には人と人とのつながりをテーマとした「てづくりっこ」と「M+」が選出されました。

最優秀賞を受賞した田崎 陽介さんは、「ゼロからビジネスプランを作成する貴重な経験ができました。卒業生の方から、メンターとして約1ヶ月にわたり、サポートして頂きました。ご指導の手厚さ、質の高さに驚きながら、自分でも成長を実感できた日々でした」と、喜びと感謝のコメントを残しています。

江幡審査員長は、「どのプランも大変素晴らしく、甲乙つけがたい。皆さんへの支援は惜しまないので、あきらめずに磨きをかけて実現に向けて頑張ってください」とのエールがありました。また、閉会挨拶に立った関副学長は、「ビジネスマインドを醸成するために、このような機会がとても大切。今後もこのコンテストを継続していきたい」と述べました。次回もより多くのチームが参加することを期待しています。



江幡審査員長による講評の様子



関副学長による閉会の挨拶の様子

》5チームによる提案内容

ビジネスプラン名（発表順）

プラン名	Town Code	発表者	花澤 伶 (理工学部 機械システム工学科 1年)
地域の商店街が抱える課題を学生とITでサポートする			
プラン名	TEAM SPOTS	発表者	味香 優希・永原 和真 (メディア情報学部 社会メディア学科 3年)
情報発信と人材リサーチの効率化によって学生のチーム作成を支援する			
プラン名	てづくりっこ	発表者	高橋 知里 (知識工学部 知能情報工学科 2年)
安全で手間がかからない+親子で楽しめる食育キット			
プラン名	M+(エムプラス)	発表者	板倉 夏帆・金澤 碧 (都市生活学部 都市生活学科 2年)
軽度認知障がい者を健常者へと回復させるマッチングサービス			
プラン名	EtB	発表者	田崎 陽介 (総合理工学研究科 建築・都市専攻 博士後期課程 5年)
性別違和の人のための美容室検索サイト			



最優秀賞を受賞した田崎 陽介さん